

札幌商工会議所附属専門学校

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の

確認に係る申請書

札幌商工会議所

札幌商工会議所附属専門学校

北海道知事 殿

〔設置者の名称〕 札幌商工会議所附属専門学校

〔代表者の役職〕 会頭 岩 田 圭 剛

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	札幌商工会議所附属専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校 専門学校)
大学等の所在地	札幌市白石区本通 1 7 丁目南 5 - 1 5
学長又は校長の氏名	校長 山田 義弘
設置者の名称	札幌商工会議所
設置者の主たる事務所の所在地	札幌市中央区北 1 西 2
設置者の代表者の氏名	会頭 岩田 圭剛
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05sinsei.pdf

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知していません。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務部 友兼 昭	011-866-8088	a-tomokane@sapporocci.or.jp
第2号の1	事務部 友兼 昭	011-866-8088	a-tomokane@sapporocci.or.jp
第2号の2	事務部 友兼 昭	011-866-8088	a-tomokane@sapporocci.or.jp
第2号の3	事務部 友兼 昭	011-866-8088	a-tomokane@sapporocci.or.jp
第2号の4	事務部 友兼 昭	011-866-8088	a-tomokane@sapporocci.or.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード	H101310400028	学校名	札幌商工会議所附属専門学校
設置者名	札幌商工会議所		

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	3,098,033,992円	3,098,747,376円	-713,384円
申請2年度前の決算	2,990,023,317円	2,992,524,324円	-2,501,007円
申請3年度前の決算	2,948,136,823円	2,954,963,601円	-6,826,778円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	5,461,849,758円	227,332,701円	5,234,517,057円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	400人	127人	31%
前年度	400人	140人	35%
前々年度	400人	188人	47%

(IIの補足資料) 「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	札幌商工会議所附属専門学校
設置者名	札幌商工会議所

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	税務会計学科	夜・通信	465 時間 (705 時間)	160 時間	
	北海道観光学科	夜・通信	1,170 時間	160 時間	
	経理・事務学科	夜・通信	675 時間	160 時間	
	情報・マネジメント学科	夜・通信	1,215 時間	160 時間	
(備考) 1年生は新課程、2年生は旧課程に基づいて作成 税務会計学科の()内は、2年生【選択必修D】を選択した場合の時間数					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

授業科目名・時間数一覧表(2023年度総括表) https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-5-0.pdf
授業科目名・時間数一覧表(2023年度) https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-5-1.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	札幌商工会議所附属専門学校
設置者名	札幌商工会議所

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営委員会
役割	札幌商工会議所附属専門学校の教育活動全般について意見交換し、学校と関連する外部の方(関連業界団体関係者、教育関係者等)の理解促進や、連携協力による学校運営の改善を図ることを基本方針とし、実践的な職業教育の実施を目指すことを目的とする。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
札幌商工会議所 副会頭 大黒自工(株) 代表取締役	2023年4月1日～ 2026年3月31日	学校関係企業
税理士法人知野・寺田会計事務所 所長	2023年4月1日～ 2026年3月31日	学校関係企業
札幌商工会議所 議員 人材確保・活用委員会 副委員長 北海道クリエイティブ(株) 代表取締役	2023年4月1日～ 2026年3月31日	学校関係企業
札幌商工会議所 議員 住宅・不動産部会 副委員長 (株)藤井ビル 代表取締役	2023年4月1日～ 2026年3月31日	学校関係企業
札幌商工会議所 議員 北のブランド推進委員会 副委員長 (株)京王プラザホテル札幌 代表取締役社長	2023年4月1日～ 2026年3月31日	学校関係企業
(株)日本旅行北海道 顧問	2023年4月1日～ 2026年3月31日	学校関係企業
(株)北洋銀行 執行役員人事部長	2023年4月1日～ 2026年3月31日	学校関係企業
(株)ニトリパブリック 顧問	2023年4月1日～ 2026年3月31日	学校関係企業
元 札幌大学教職指導特命教員 教授	2023年4月1日～ 2026年3月31日	大学関係教職指導 担当

札幌商工会議所附属専門学校校友会 会長 セカサミゴルフエンタテインメント（株） 代表取締役社長	2023年4月1日～ 2026年3月31日	学校関係企業 卒業生
(備考) 学校運営委員会の全外部人材名簿については下記にて公表している。 https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-2-2.pdf		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌商工会議所附属専門学校
設置者名	札幌商工会議所

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各年度の各学科の授業計画(シラバス)については、学校運営委員会の検討事項をもとに、シラバス作成ガイドラインに則り、学内の教務部及び教職員で検討をし、職員会議を経て決定している。</p> <p>【シラバス作成ガイドライン】</p> <p>学生にとって各科目で何を身に付けることが出来るか。学習成果がどのように評価されるのかなど、シラバスは学生に学びの指針を与え、学びの支援をするものであります。</p> <p>また、教員にとっては教育計画の系統性、一貫性を保つための自己点検ツールでもあります。今後、シラバス内容の点検、シラバスの見直しを組織的に検討していきます。</p> <p>(1) 授業科目名 内容がイメージできる科目名で示す 例 WEB デザイン、簿記の基礎</p> <p>(2) 授業期間、単位・時間数、担当者の明記 学生に対して開講期間、総授業時間・単位数を明確に示し、学生に対してどの時点からどれくらいの時間で実施するかを示す。 例 授業期間：1年次4月～11月 総授業時間数：90時間 単位数：6単位</p> <p>(3) 科目担当者の実務経験についての明記 各科目指導に当たる担当教員の実務経験がある者の明記をする。 例 実務経験：有 (実務経験については、各学科の実務家教員一覧に記載する)</p> <p>(4) 講義の概要 教員の視点から授業科目の持つ意義を学生に明確に示す。学科の教育目標、他の科目との関連などを示すことによって、学生に対して系統的な学習の視点を与えるようにする。 また、学生の興味・関心を高め、学習意欲を喚起することを目指した内容にする。</p>

例 WEB サイトの基本的な作成方法、PCをはじめ、タブレット、スマートフォンなど多様な情報機器への表示が柔軟に対応できるレスポンシブデザインについて学び、使い勝ってや見栄えを向上させる方法について学びます。

(5) 到達目標

学生に講義の目的および概要にもとづき、学生の視点で到達目標を示す。学習の有効性、職業と結びつけたメリット等が説明でき、学生にとっての行動目標などを示す。

例 テーマに沿ったWEBサイトの作成ができる。

(6) 目標検定

学生の到達レベルを測るため、また、就職時の個人評価を高める為、学習内容によって検定試験を受験させることを示す。

例 日商簿記検定試験 3 級

(7) テキスト・参考文献

授業で使用する教科書、テキストがある場合、出版社、書名等を明記する。また、参考文献等がある場合も示す。

例 インフォテックサーブ IT パスポート試験問題集

(8) 授業内容

授業期間に合わせて、どのような項目を実施するかを明示する。

例 1. HTML タグの基本
2. WEB ページにおける段組み

(9) 成績評価方法

学生が到達すべき目標を達成できたかどうかを評価する方法(定期試験、小テスト、課題、平常点(出席状況、授業態度等))を明確に示す。

例 定期試験 50% 課題 30% 平常点 20%

授業計画書の公表方法

【シラバス作成ガイドライン】

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-3-2.pdf>

【令和 5 年（2023 年）年度各学科シラバス】

税務会計学科 1 年次(令和5年度入学生)

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-ZE2023.pdf>

税務会計学科 2 年次(令和4年度入学生)

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-ZE2022.pdf>

北海道観光学科 1 年次(令和5年度入学生)

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-KA2023.pdf>

北海道観光学科 2 年次(令和4年度入学生)

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-KA2022.pdf>

経理・事務学科 1 年次(令和5年度入学生)

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-KE2023.pdf>

経理・事務学科 2 年次(令和4年度入学生)

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-KE2022.pdf>

情報・マシ 外学科 1 年次(令和5年度入学生)

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-JM2023.pdf>

情報・マシ 外学科 2 年次(令和4年度入学生)

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-JM2022.pdf>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

単位（履修）認定基準は年度ごとに見直しを行い、学則にて設定するとともに、学生心得にて学生・保護者に周知している。下記の基準により単位（履修）認定を行っている。

また、学生の学修意欲・理解度等については、学生アンケートなどにより把握しており、その結果を授業計画作成時に反映させている。

【単位（履修）認定基準】

単位の認定の方針については、下記に記載した学則第15条並びに教務規定により条件を満たした学生に対して行う。

(学則抜粋)

第15条 各科目履修の認定は、原則として科目ごとに8割以上出席した学生に対して行う。なお、病気入院など特別の理由による出席不足については、校長の判断に委ねる。

- 2 教育指導計画にしたがって科目を履修し、その成績を評定して合格した学生に対して、単位の修得を認定する。
- 3 成績の評定（以下、評定という。）は、定期試験の成績及び平素の成績に基づいて行うものとする。
- 4 評定の結果は、A、B、C、Dをもって表し、Dを不合格とする。但し、一部の科目については、必要な授業時間数を受けた学生に対し、Sとして単位の認定をすることがある。
- 5 評定は、100点を最高点として行い、得点との関係は、次の通りとする。

80点以上	A	60点以上	B
50点以上	C	50点未満	D

本校ホームページにて公開する

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-6-2.pdf>

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価においてGPAを導入し、学科ごとに成績の状況把握をおこなう。

【GPAの算定方法】

GPAとは、1単位あたりの成績の平均値を示すもので、学生が履修した全科目の成績の平均を数値で表したものです。

令和元年度入学生から年度ごとにGPAを以下のとおり計算します。

なお、GPAの算出基礎になる科目は各学科のカリキュラムに示された「すべての科目」を対象とします。

- (1) 成績評価に応じて5段階(4.0, 3.0, 2.0, 1.0, 0)の数値(ポイント)を設定します。なお、不合格となった科目はポイントが0点となります。
- (2) 各履修科目のポイントに、科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で割ったものがGPAとなります。

【成績評定とGPA】

合否区分	評定	評 点	ポイント
合格	A	100点~80点	4.0
	B	79点~60点	3.0
	C	59点~50点	2.0
	S	受講・実習による履修	1.0
不合格	D	49点以下	0.0

算出式：

$$4.0 \times A \text{の修得単位数} + 3.0 \times B \text{の修得単位数} + 2.0 \times C \text{の修得単位数} + 1.0 \times S \text{の修得単位数} \\ \div \text{総履修単位数 (Dの単位数を含む)}$$

参考) ある学生のGPA【計算例】

授業科目名	単位数	評点	評定	ポイント	ポイント×単位数
商業簿記	14	90	A	4.0	4.0×14 = 56
会社会計	16	75	B	3.0	3.0×16 = 48
工業簿記・原価計算	15	55	C	2.0	2.0×15 = 30
所得税の基礎	2	82	A	4.0	4.0×2 = 8
コンピュータ会計	4	70	B	3.0	3.0×4 = 12
オフィスソフト演習Ⅰ	8	30	D	0.0	0.0×8 = 0
文書処理概論	2	50	C	2.0	2.0×2 = 4
時事経済Ⅰ	1	73	B	3.0	3.0×1 = 3
企業講話Ⅰ	1	85	A	4.0	4.0×1 = 4
インターンシップ	6	----	S	1.0	1.0×6 = 6
マナー講座	1	77	B	3.0	3.0×1 = 3
体育Ⅰ	2	63	B	3.0	3.0×2 = 6
合計	72				177ポイント

GPA = 2.5 (177 ÷ 72 = 2.45...小数点第2位を四捨五入する)

(3)平成31年度以降入学生を対象にGPAを導入します。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

【GPAの算定方式】

本校ホームページにて公開する

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-6-3.pdf>

【成績分布状況表 令和4年度】

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-6-3-02>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定基準については、毎年見直し検討を行っており、学生のより高い習熟度を達成させるように基準を設け、学則において設定している。学生・保護者については学生心得にて公開・周知している。卒業の認定についての基準は下記の通りである。

【卒業認定基準】

本学は、学則第14条第2項、第3項、第4項、第5項、第6項に基づき、所定の単位を修得した学生で、下記に示す能力を身につけた者に対して卒業認定をする。

【学則抜粋】

第14条 (省略)

：

- 2 1 授業時間及び1 実習時間は、50分間とする。
- 3 本校において行う講義、演習等の単位の基準は、授業時間15時間をもって1単位とする。また、実習の単位の基準は、実習時間30時間をもって1単位とする。
- 4 専門課程の2年次進級認定に必要な単位数は、60単位以上とし、また卒業認定に必要な単位数は、115単位以上とする。この際、2年次で取得しなければならない最低単位数は、54単位とする。
- 5 進級並びに卒業要件を欠く学生は、原則として1年次、2年次の課程を再履修するものとする。但し、第21条第2項に該当する場合には、この限りでない。
- 6 進級認定並びに卒業認定を行うにあたっては、原則として年間総授業時間数の9割以上出席した学生に対して行う。なお、病気入院など特別の理由による出席不足については、校長の判断に委ねる。

【身に付ける能力】

「経理・事務学科」

1. 経理事務や一般事務、営業事務など事務職で必要とされる財務会計の専門知識を有し、実務において実践できる能力。
2. 情報活用技術をコンピュータ・情報に関する知識を有し、業務で必要とされる各種書類の作成ができる能力。
3. 来客・電話等の際に適切な接遇ができる。

【税務会計学科】

1. 財務分野（財務会計並びに税法）の専門知識を有し、企業経営に必要とされる財務諸表を作成できる能力。
2. 財務諸表から企業の財務状態、経営状態を分析し企業の健全な成長と発展に寄与できる能力。

【北海道観光学科】

1. 観光に関する専門知識を有し、北海道の魅力を発信し、観光の各分野で活躍できる能力。

2. 北海道の観光産業を支えることができる能力。
3. コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。

【情報・マネジメント学科】

1. 情報・経営・財務分野の専門知識を有し、情報技術力や経営分析力を企業の経営に活用できる能力。
2. 会社の設立、ビジネスプランなどの知識を有し、起業家精神を培った企業家。
3. 企業経営の中核を担い活躍できる人材を目指す。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

【卒業認定基準】

本校ホームページにて公開する

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/RO5CA1-6-4.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	札幌商工会議所付属専門学校
設置者名	札幌商工会議所

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R04bs.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R04syusi-soukatu.pdf
財産目録	https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R04zaisan.pdf
事業報告書	https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R04jigyo.pdf
監事による監査報告（書）	https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R04kansahoukoku.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	税務会計学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1905 時間 / 127 単位	1200 単位時間 /80 単位	645 単位時間 /43 単位	0 単位時間 /0 単位	0 単位時間 /0 単位	60 単位時間 /4 単位
			【選択科目B】 495 単位時間 /33 単位	【選択科目B】 1350 単位時間 /90 単位	1905 単位時間 / 単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		27 人	0 人	6 人	6 人	12 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>各年度の各学科の授業計画(シラバス)については、学校運営委員会の検討事項をもとに、シラバス作成ガイドラインに則り、学内の教務部及び教職員で検討をし、職員会議を経て決定している。</p> <p>【シラバス作成ガイドライン】</p> <p>学生にとって各科目で何を身に付けることができるか。学習成果がどのように評価されるのかなど、シラバスは学生に学びの指針を与え、学びの支援をするものであります。</p> <p>また、教員にとっては教育計画の系統性、一貫性を保つための自己点検ツールでもあります。今後、シラバス内容の点検、シラバスの見直しを組織的に検討してまいります。</p> <p>(1) 授業科目名 内容がイメージできる科目名で示す 例 WEB デザイン、簿記の基礎</p> <p>(2) 授業期間、単位・時間数、担当者の明記 学生に対して開講期間、総授業時間・単位数を明確に示し、学生に対してどの時点からどれくらいの時間で実施するかを示す。 例 授業期間：1 年次 4 月～11 月 総授業時間数：90 時間 単位数：6 単位</p> <p>(3) 科目担当者の実務経験についての明記 各科目指導に当たる担当教員の実務経験がある者の明記をする。 例 実務経験：有 (実務経験については、各学科の実務家教員一覧に記載する)</p> <p>(4) 講義の概要 教員の視点から授業科目の持つ意義を学生に明確に示す。学科の教育目標、他の科目との関連などを示すことによって、学生に対して系統的な学</p>

習の視点を与えるようにする。

また、学生の興味・関心を高め、学習意欲を喚起することを目指した内容にする。

例 WEBサイトの基本的な作成方法、PCをはじめ、タブレット、スマートフォンなど多様な情報機器への表示が柔軟に対応できるレスポンシブデザインについて学び、使い勝ってや見栄えを向上させる方法について学びます。

(5) 到達目標

学生に講義の目的および概要にもとづき、学生の視点で到達目標を示す。学習の有効性、職業と結びつけたメリット等が説明でき、学生にとっての行動目標などを示す。

例 テーマに沿ったWEBサイトの作成ができる。

(6) 目標検定

学生の到達レベルを測るため、また、就職時の個人評価を高める為、学習内容によって検定試験を受験させることを示す。

例 日商簿記検定試験 3級

(7) テキスト・参考文献

授業で使用する教科書、テキストがある場合、出版社、書名等を明記する。また、参考文献等がある場合も示す。

例 インフォテックサーブ ITパスポート試験問題集

(8) 授業内容

授業期間に合わせて、どのような項目を実施するかを明示する。

例 1. HTML タグの基本
2. WEB ページにおける段組み

(9) 成績評価方法

学生が到達すべき目標を達成できたかどうかを評価する方法(定期試験、小テスト、課題、平常点(出席状況、授業態度等))を明確に示す。

例 定期試験50% 課題30% 平常点20%

【シラバス作成ガイドライン】

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-3-2.pdf>

【2023年度シラバス】

税務会計学科

1年次 <https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-ZE2023.pdf>

2年次 <https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-ZE2022.pdf>

成績評価の基準・方法

(概要)

単位(履修)認定基準は年度ごとに見直しを行い、学則にて設定するとともに、学生心得にて学生・保護者に周知している。下記の基準により単位(履修)認定を行っている。

また、学生の学修意欲・理解度等については、学生アンケートなどにより把握しており、その結果を授業計画作成時に反映させている。

【学則抜粋】

- 第15条 各科目履修の認定は、原則として科目ごとに8割以上出席した学生に対して行う。なお、病気入院など特別の理由による出席不足については、校長の判断に委ねる。
- 2 教育指導計画にしたがって科目を履修し、その成績を評定して合格した学生に対して、単位の修得を認定する。
 - 3 成績の評定（以下、評定という。）は、定期試験の成績及び平素の成績に基づいて行うものとする。
 - 4 評定の結果は、A、B、C、Dをもって表し、Dを不合格とする。
但し、一部の科目については、必要な授業時間数を受けた学生に対し、Sとして単位の認定をすることがある。
 - 5 評定は、100点を最高点として行い、得点との関係は、次の通りとする。

80点以上	A	60点以上	B
50点以上	C	50点未満	D

本校ホームページにて公開する

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-6-2.pdf>

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業の認定基準については、毎年見直し検討を行っており、学生のより高い習熟度を達成させるように基準を設け、学則において設定している。学生・保護者については学生心得にて公開・周知している。卒業の認定についての基準は下記の通りである。

【卒業認定基準】

本学は、学則第14条第2項、第3項、第4項、第5項、第6項に基づき、所定の単位を修得した学生で、下記に示す能力を身につけた者に対して卒業認定をする。

【学則抜粋】

第14条（省略）

- ：
- 2 1授業時間及び1実習時間は、50分間とする。
 - 3 本校において行う講義、演習等の単位の基準は、授業時間15時間をもって1単位とする。また、実習の単位の基準は、実習時間30時間をもって1単位とする。
 - 4 専門課程の2年次進級認定に必要な単位数は、60単位以上とし、また卒業認定に必要な単位数は、115単位以上とする。この際、2年次で取得しなければならない最低単位数は、54単位とする。
 - 5 進級並びに卒業要件を欠く学生は、原則として1年次、2年次の課程を再履修するものとする。但し、第21条第2項に該当する場合には、この限りでない。
 - 6 進級認定並びに卒業認定を行うにあたっては、原則として年間総授業時間数の9割以上出席した学生に対して行う。なお、病気入院など特別の理由による出席不足については、校長の判断に委ねる。

【身に付ける能力】

「経理・事務学科」

1. 経理事務や一般事務、営業事務など事務職で必要とされる財務会計の専門知識を有し、実務において実践できる能力。
2. 情報活用技術をコンピュータ・情報に関する知識を有し、業務で必要とされる各種書類の作成ができる能力。
3. 来客・電話等の際に適切な接遇ができる。

【税務会計学科】

1. 財務分野（財務会計並びに税法）の専門知識を有し、企業経営に必要とされる財務諸表を作成できる能力。

<p>2. 財務諸表から企業の財務状態、経営状態を分析し企業の健全な成長と発展に寄与できる能力。</p> <p>【北海道観光学科】</p> <p>1. 観光に関する専門知識を有し、北海道の魅力を発信し、観光の各分野で活躍できる能力。</p> <p>2. 北海道の観光産業を支えることができる能力。</p> <p>3. コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。</p> <p>【情報・マネジメント学科】</p> <p>1. 情報・経営・財務分野の専門知識を有し、情報技術力や経営分析力を企業の経営に活用できる能力。</p> <p>2. 会社の設立、ビジネスプランなどの知識を有し、起業家精神を培った企業家。</p> <p>3. 企業経営の中核を担い活躍できる人材を目指す。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>目標達成レベルに応じて、放課後講習を実施。また、心的な病等に対応するためカウンセラーを委嘱し、対応している。学習、生活指導については、保護者、学生、学校との連携により個別対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100.0%)	0人 (0.0%)	11人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
清宮純税理士事務所、税理士法人ベンチャーパートナーズ総合会計、井上税務会計事務所、薄井税理士事務所、北海道内田鍛工(株)、(株)北開水工コンサルタント、北海道商工会議所連合会、東北医療福祉事業協同組合、(株)寺岡北海道、(株)ナカジマ薬局			
(就職指導内容)			
担任による個別指導、就職サポートによる個別対応、全体就職指導、就職決定者（在校上級性）を囲んだ座談会、就職状況に関する講話（民間講師招へい）、個別面接練習及び個別就職相談等を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
税理士試験、日商簿記検定試験、全経(所得・法人・消費)税法能力検定、全経電卓検定、全経コンピュータ会計能力検定、日本語ワープロ検定、Excel 表計算処理技能認定試験			
(備考) 開設している授業の種類については、令和5年度入学生のもので記載。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	1人	4.8%
(中途退学の主な理由)		
学習意欲の低下		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
欠席増加に伴って、担任からの指導、保護者への連絡、三者面談などを実施し、本人の将来を考えての指導を実施している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	北海道観光学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1905 時間 / 127 単位	1335 単位時間 /89 単位	510 単位時間 /34 単位	0 単位時間 /0 単位	0 単位時間 /0 単位	60 単位時間 /4 単位
			1905 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		5人	1人	6人	14人	20人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>各年度の各学科の授業計画(シラバス)については、学校運営委員会の検討事項をもとに、シラバス作成ガイドラインに則り、学内の教務部及び教職員で検討をし、職員会議を経て決定している。</p> <p>【シラバス作成ガイドライン】</p> <p>学生にとって各科目で何を身に付けることができるか。学習成果がどのように評価されるのかなど、シラバスは学生に学びの指針を与え、学びの支援をするものであります。</p> <p>また、教員にとっては教育計画の系統性、一貫性を保つための自己点検ツールでもあります。今後、シラバス内容の点検、シラバスの見直しを組織的に検討していきます。</p> <p>(1) 授業科目名 内容がイメージできる科目名で示す 例 WEB デザイン、簿記の基礎</p> <p>(2) 授業期間、単位・時間数、担当者の明記 学生に対して開講期間、総授業時間・単位数を明確に示し、学生に対してどの時点からどれくらいの時間で実施するかを示す。 例 授業期間：1 年次 4 月～11 月 総授業時間数：90 時間 単位数：6 単位</p> <p>(3) 科目担当者の実務経験についての明記 各科目指導に当たる担当教員の実務経験がある者の明記をする。 例 実務経験：有 (実務経験については、各学科の実務家教員一覧に記載する)</p> <p>(4) 講義の概要 教員の視点から授業科目の持つ意義を学生に明確に示す。学科の教育目標、他の科目との関連などを示すことによって、学生に対して系統的な学習の視点を与えるようにする。 また、学生の興味・関心を高め、学習意欲を喚起することを目指した内容</p>

にする。

例 WEBサイトの基本的な作成方法、PCをはじめ、タブレット、スマートフォンなど多様な情報機器への表示が柔軟に対応できるレスポンシブデザインについて学び、使い勝ってや見栄えを向上させる方法について学びます。

(5) 到達目標

学生に講義の目的および概要にもとづき、学生の視点で到達目標を示す。学習の有効性、職業と結びつけたメリット等が説明でき、学生にとっての行動目標などを示す。

例 テーマに沿ったWEBサイトの作成ができる。

(6) 目標検定

学生の到達レベルを測るため、また、就職時の個人評価を高める為、学習内容によって検定試験を受験させることを示す。

例 日商簿記検定試験3級

(7) テキスト・参考文献

授業で使用する教科書、テキストがある場合、出版社、書名等を明記する。また、参考文献等がある場合も示す。

例 インフォテックサーブ ITパスポート試験問題集

(8) 授業内容

授業期間に合わせて、どのような項目を実施するかを明示する。

- 例 1. HTML タグの基本
2. WEB ページにおける段組み

(9) 成績評価方法

学生が到達すべき目標を達成できたかどうかを評価する方法(定期試験、小テスト、課題、平常点(出席状況、授業態度等))を明確に示す。

例 定期試験50% 課題30% 平常点20%

【シラバス作成ガイドライン】

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-3-2.pdf>

【2023年度シラバス】

北海道観光学科

1年次 <https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-KA2023.pdf>

2年次 <https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-KA2022.pdf>

成績評価の基準・方法

(概要)

単位(履修)認定基準は年度ごとに見直しを行い、学則にて設定するとともに、学生心得にて学生・保護者に周知している。下記の基準により単位(履修)認定を行っている。

また、学生の学修意欲・理解度等については、学生アンケートなどにより把握しており、その結果を授業計画作成時に反映させている。

【学則抜粋】

- 第15条 各科目履修の認定は、原則として科目ごとに8割以上出席した学生に対して行う。なお、病気入院など特別の理由による出席不足については、校長の判断に委ねる。
- 2 教育指導計画にしたがって科目を履修し、その成績を評定して合格した学生に対して、単位の修得を認定する。
 - 3 成績の評定（以下、評定という。）は、定期試験の成績及び平素の成績に基づいて行うものとする。
 - 4 評定の結果は、A、B、C、Dをもって表し、Dを不合格とする。
但し、一部の科目については、必要な授業時間数を受けた学生に対し、Sとして単位の認定をすることがある。
 - 5 評定は、100点を最高点として行い、得点との関係は、次の通りとする。
80点以上 A 60点以上 B
50点以上 C 50点未満 D

本校ホームページにて公開する

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-6-2.pdf>

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業の認定基準については、毎年見直し検討を行っており、学生のより高い習熟度を達成させるように基準を設け、学則において設定している。学生・保護者については学生心得にて公開・周知している。卒業の認定についての基準は下記の通りである。

【卒業認定基準】

本学は、学則第14条第2項、第3項、第4項、第5項、第6項に基づき、所定の単位を修得した学生で、下記に示す能力を身につけた者に対して卒業認定をする。

【学則抜粋】

第14条 （省略）

- 2 1 授業時間及び1 実習時間は、50分間とする。
- 3 本校において行う講義、演習等の単位の基準は、授業時間15時間をもって1単位とする。また、実習の単位の基準は、実習時間30時間をもって1単位とする。
- 4 専門課程の2年次進級認定に必要な単位数は、60単位以上とし、また卒業認定に必要な単位数は、115単位以上とする。この際、2年次で取得しなければならない最低単位数は、54単位とする。
- 5 進級並びに卒業要件を欠く学生は、原則として1年次、2年次の課程を再履修するものとする。但し、第21条第2項に該当する場合には、この限りでない。
- 6 進級認定並びに卒業認定を行うにあたっては、原則として年間総授業時間数の9割以上出席した学生に対して行う。なお、病気入院など特別の理由による出席不足については、校長の判断に委ねる。

【身に付ける能力】

「経理・事務学科」

1. 経理事務や一般事務、営業事務など事務職で必要とされる財務会計の専門知識を有し、実務において実践できる能力。
2. 情報活用技術をコンピュータ・情報に関する知識を有し、業務で必要とされる各種書類の作成ができる能力。
3. 来客・電話等の際に適切な接遇ができる。

【税務会計学科】

1. 財務分野（財務会計並びに税法）の専門知識を有し、企業経営に必要とされる財務諸表を作成できる能力。
2. 財務諸表から企業の財務状態、経営状態を分析し企業の健全な成長と発展に寄与できる能

力。
<p>【北海道観光学科】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光に関する専門知識を有し、北海道の魅力を発信し、観光の各分野で活躍できる能力。 2. 北海道の観光産業を支えることができる能力。 3. コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。 <p>【情報・マネジメント学科】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報・経営・財務分野の専門知識を有し、情報技術力や経営分析力を企業の経営に活用できる能力。 2. 会社の設立、ビジネスプランなどの知識を有し、起業家精神を培った企業家。 3. 企業経営の中核を担い活躍できる人材を目指す。
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>目標達成レベルに応じて、放課後講習を実施。また、心的な病等に対応するためカウンセラーを委嘱し、対応している。学習、生活指導については、保護者、学生、学校との連携により個別対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100.0%)	0人 (0.0%)	9人 (90.0%)	1人 (10.0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>北海道エアポート(株)、西野目産業(株)ホテル大雪、(株)ジェイ・エス・エス、(株)KSP・EAST札幌支社、新日本海フェリー(株)、(株)藤井ビル、とうや湖農業協同組合、(株)表鉄工所、北海道コカ・コーラプロダクツ(株)</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>担任による個別指導、就職サポートによる個別対応、全体就職指導、就職決定者（在校上級性）を囲んだ座談会、就職状況に関する講話（民間講師招へい）、個別面接練習及び個別就職相談等を実施。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>国内旅行業務管理者試験、北海道観光マスター検定、国内旅程管理主任者、日本の宿おもてなし検定、サービス接客検定、インバウンド検定、世界遺産検定、日商簿記検定試験、リテールマーケティング(販売士)検定、全経電卓検定、文書デザイン検定、日本語ワープロ検定、Excel 表計算処理技能認定試験</p>			
<p>(備考) 開設している授業の種類については、令和5年度入学生のもので記載。</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	2人	12.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>生活不適應</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>欠席増加に伴って、担任からの指導、保護者への連絡、3者面談などを実施し、本人の将来を考えての指導を実施している。</p>		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	経理・事務学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1905 時間 / 127 単位	1335 単位時間 /89 単位	510 単位時間 /34 単位	0 単位時間 /0 単位	0 単位時間 /0 単位	60 単位時間 /4 単位
			1905 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		61人	0人	7人	9人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>各年度の各学科の授業計画(シラバス)については、学校運営委員会の検討事項をもとに、シラバス作成ガイドラインに則り、学内の教務部及び教職員で検討をし、職員会議を経て決定している。</p> <p>【シラバス作成ガイドライン】</p> <p>学生にとって各科目で何を身に付けることができるか。学習成果がどのように評価されるのかなど、シラバスは学生に学びの指針を与え、学びの支援をするものであります。</p> <p>また、教員にとっては教育計画の系統性、一貫性を保つための自己点検ツールでもあります。今後、シラバス内容の点検、シラバスの見直しを組織的に検討していきます。</p> <p>(1) 授業科目名 内容がイメージできる科目名で示す 例 WEB デザイン、簿記の基礎</p> <p>(2) 授業期間、単位・時間数、担当者の明記 学生に対して開講期間、総授業時間・単位数を明確に示し、学生に対してどの時点からどれくらいの時間で実施するかを示す。 例 授業期間：1 年次 4 月～11 月 総授業時間数：90 時間 単位数：6 単位</p> <p>(3) 科目担当者の実務経験についての明記 各科目指導に当たる担当教員の実務経験がある者の明記をする。 例 実務経験：有 (実務経験については、各学科の実務家教員一覧に記載する)</p> <p>(4) 講義の概要 教員の視点から授業科目の持つ意義を学生に明確に示す。学科の教育目標、他の科目との関連などを示すことによって、学生に対して系統的な学習の視点を与えるようにする。 また、学生の興味・関心を高め、学習意欲を喚起することを目指した内容</p>

にする。

例 WEBサイトの基本的な作成方法、PCをはじめ、タブレット、スマートフォンなど多様な情報機器への表示が柔軟に対応できるレスポンシブデザインについて学び、使い勝ってや見栄えを向上させる方法について学びます。

(5) 到達目標

学生に講義の目的および概要にもとづき、学生の視点で到達目標を示す。学習の有効性、職業と結びつけたメリット等が説明でき、学生にとっての行動目標などを示す。

例 テーマに沿ったWEBサイトの作成ができる。

(6) 目標検定

学生の到達レベルを測るため、また、就職時の個人評価を高める為、学習内容によって検定試験を受験させることを示す。

例 日商簿記検定試験3級

(7) テキスト・参考文献

授業で使用する教科書、テキストがある場合、出版社、書名等を明記する。また、参考文献等がある場合も示す。

例 インフォテックサーブ ITパスポート試験問題集

(8) 授業内容

授業期間に合わせて、どのような項目を実施するかを明示する。

例 1. HTML タグの基本
2. WEB ページにおける段組み

(9) 成績評価方法

学生が到達すべき目標を達成できたかどうかを評価する方法(定期試験、小テスト、課題、平常点(出席状況、授業態度等))を明確に示す。

例 定期試験50% 課題30% 平常点20%

【シラバス作成ガイドライン】

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-3-2.pdf>

【2023年度シラバス】

経理・事務学科

1年次 <https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-KE2023.pdf>

2年次 <https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-KE2022.pdf>

成績評価の基準・方法

(概要)

単位(履修)認定基準は年度ごとに見直しを行い、学則にて設定するとともに、学生心得にて学生・保護者に周知している。下記の基準により単位(履修)認定を行っている。

また、学生の学修意欲・理解度等については、学生アンケートなどにより把握しており、その結果を授業計画作成時に反映させている。

【学則抜粋】

- 第15条 各科目履修の認定は、原則として科目ごとに8割以上出席した学生に対して行う。なお、病気入院など特別の理由による出席不足については、校長の判断に委ねる。
- 2 教育指導計画にしたがって科目を履修し、その成績を評定して合格した学生に対して、単位の修得を認定する。
 - 3 成績の評定（以下、評定という。）は、定期試験の成績及び平素の成績に基づいて行うものとする。
 - 4 評定の結果は、A、B、C、Dをもって表し、Dを不合格とする。
但し、一部の科目については、必要な授業時間数を受けた学生に対し、Sとして単位の認定をすることがある。
 - 5 評定は、100点を最高点として行い、得点との関係は、次の通りとする。
80点以上 A 60点以上 B
50点以上 C 50点未満 D

本校ホームページにて公開する

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-6-2.pdf>

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業の認定基準については、毎年見直し検討を行っており、学生のより高い習熟度を達成させるように基準を設け、学則において設定している。学生・保護者については学生心得にて公開・周知している。卒業の認定についての基準は下記の通りである。

【卒業認定基準】

本学は、学則第14条第2項、第3項、第4項、第5項、第6項に基づき、所定の単位を修得した学生で、下記に示す能力を身につけた者に対して卒業認定をする。

【学則抜粋】

第14条 （省略）

- 2 1 授業時間及び1 実習時間は、50分間とする。
- 3 本校において行う講義、演習等の単位の基準は、授業時間15時間をもって1単位とする。また、実習の単位の基準は、実習時間30時間をもって1単位とする。
- 4 専門課程の2年次進級認定に必要な単位数は、60単位以上とし、また卒業認定に必要な単位数は、115単位以上とする。この際、2年次で取得しなければならない最低単位数は、54単位とする。
- 5 進級並びに卒業要件を欠く学生は、原則として1年次、2年次の課程を再履修するものとする。但し、第21条第2項に該当する場合には、この限りでない。
- 6 進級認定並びに卒業認定を行うにあたっては、原則として年間総授業時間数の9割以上出席した学生に対して行う。なお、病気入院など特別の理由による出席不足については、校長の判断に委ねる。

【身に付ける能力】

「経理・事務学科」

1. 経理事務や一般事務、営業事務など事務職で必要とされる財務会計の専門知識を有し、実務において実践できる能力。
2. 情報活用技術をコンピュータ・情報に関する知識を有し、業務で必要とされる各種書類の作成ができる能力。
3. 来客・電話等の際に適切な接遇ができる。

【税務会計学科】

1. 財務分野（財務会計並びに税法）の専門知識を有し、企業経営に必要とされる財務諸表を作成できる能力。
2. 財務諸表から企業の財務状態、経営状態を分析し企業の健全な成長と発展に寄与できる能

力。
<p>【北海道観光学科】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光に関する専門知識を有し、北海道の魅力を発信し、観光の各分野で活躍できる能力。 2. 北海道の観光産業を支えることができる能力。 3. コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。 <p>【情報・マネジメント学科】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報・経営・財務分野の専門知識を有し、情報技術力や経営分析力を企業の経営に活用できる能力。 2. 会社の設立、ビジネスプランなどの知識を有し、起業家精神を培った企業家。 3. 企業経営の中核を担い活躍できる人材を目指す。
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>目標達成レベルに応じて、放課後講習を実施。また、心的な病等に対応するためカウンセラーを委嘱し、対応している。学習、生活指導については、保護者、学生、学校との連携により個別対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100.0%)	2人 (6.3%)	25人 (78.1%)	5人 (15.6%)
(主な就職、業界等)			
(株)北洋銀行、(株)北海道クラウン、(株)エース・システム、(株)よねざわ工業、 (株)ワタナベガラス、(株)東亜エンジニアリング、SATO社会保険労務士法人、 (株)高橋商事、札幌機工運輸(株)、(株)新和、(株)菊地、札幌日信電子(株)、石上車輛(株)、 恵庭開発(株)、(株)リッド、(株)そえる、(株)ヒロム、(株)日弘ヒーティング、(株)ダイイチ、 (株)城山コミュニケーションズ、日本衛生(株)、(株)もりもと、(株)コバヤシ、日糧製パン(株)、 (株)ピズポイント			
(就職指導内容)			
担任による個別指導、就職サポートによる個別対応、全体就職指導、就職決定者（在校上級性）を囲んだ座談会、就職状況に関する講話（民間講師招へい）、個別面接練習及び個別就職相談等を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
日商簿記検定試験、全経簿記検定試験、全経(所得・法人)税法能力検定、全経電卓検定、 日本語ワープロ検定、Excel表計算処理技能認定試験、全経コンピュータ会計能力検定、 文書デザイン検定、ビジネス能力ジョブパス検定			
(備考) 開設している授業の種類については、令和5年度入学生のもので記載。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	6人	9.1%
(中途退学の主な理由)		
学習意欲の低下、生活不適合、病気、就職		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
欠席増加に伴って、担任からの指導、保護者への連絡、3者面談などを実施し、本人の将来を考えての指導を実施している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報・マシ M/T学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1905 時間 / 127 単位	1125 単位時間 /75 単位	720 単位時間 /48 単位	0 単位時間 /0 単位	0 単位時間 /0 単位	60 単位時間 /4 単位
			1905 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		34人	0人	6人	6人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>各年度の各学科の授業計画(シラバス)については、学校運営委員会の検討事項をもとに、シラバス作成ガイドラインに則り、学内の教務部及び教職員で検討をし、職員会議を経て決定している。</p> <p>【シラバス作成ガイドライン】</p> <p>学生にとって各科目で何を身に付けることができるか。学習成果がどのように評価されるのかなど、シラバスは学生に学びの指針を与え、学びの支援をするものであります。</p> <p>また、教員にとっては教育計画の系統性、一貫性を保つための自己点検ツールでもあります。今後、シラバス内容の点検、シラバスの見直しを組織的に検討していきます。</p> <p>(1) 授業科目名 内容がイメージできる科目名で示す 例 WEB デザイン、簿記の基礎</p> <p>(2) 授業期間、単位・時間数、担当者の明記 学生に対して開講期間、総授業時間・単位数を明確に示し、学生に対してどの時点からどれくらいの時間で実施するかを示す。 例 授業期間：1 年次 4 月～11 月 総授業時間数：90 時間 単位数：6 単位</p> <p>(3) 科目担当者の実務経験についての明記 各科目指導に当たる担当教員の実務経験がある者の明記をする。 例 実務経験：有 (実務経験については、各学科の実務家教員一覧に記載する)</p> <p>(4) 講義の概要 教員の視点から授業科目の持つ意義を学生に明確に示す。学科の教育目標、他の科目との関連などを示すことによって、学生に対して系統的な学習の視点を与えるようにする。 また、学生の興味・関心を高め、学習意欲を喚起することを目指した内容</p>

にする。

例 WEBサイトの基本的な作成方法、PCをはじめ、タブレット、スマートフォンなど多様な情報機器への表示が柔軟に対応できるレスポンシブデザインについて学び、使い勝ってや見栄えを向上させる方法について学びます。

(5) 到達目標

学生に講義の目的および概要にもとづき、学生の視点で到達目標を示す。学習の有効性、職業と結びつけたメリット等が説明でき、学生にとっての行動目標などを示す。

例 テーマに沿ったWEBサイトの作成ができる。

(6) 目標検定

学生の到達レベルを測るため、また、就職時の個人評価を高める為、学習内容によって検定試験を受験させることを示す。

例 日商簿記検定試験3級

(7) テキスト・参考文献

授業で使用する教科書、テキストがある場合、出版社、書名等を明記する。また、参考文献等がある場合も示す。

例 インフォテックサーブ ITパスポート試験問題集

(8) 授業内容

授業期間に合わせて、どのような項目を実施するかを明示する。

例 1. HTML タグの基本
2. WEB ページにおける段組み

(9) 成績評価方法

学生が到達すべき目標を達成できたかどうかを評価する方法(定期試験、小テスト、課題、平常点(出席状況、授業態度等))を明確に示す。

例 定期試験50% 課題30% 平常点20%

【シラバス作成ガイドライン】

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-3-2.pdf>

【2023年度シラバス】

税務会計学科

1年次 <https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-JM2023.pdf>

2年次 <https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-4-JM2022.pdf>

成績評価の基準・方法

(概要)

単位(履修)認定基準は年度ごとに見直しを行い、学則にて設定するとともに、学生心得にて学生・保護者に周知している。下記の基準により単位(履修)認定を行っている。

また、学生の学修意欲・理解度等については、学生アンケートなどにより把握しており、その結果を授業計画作成時に反映させている。

【学則抜粋】

- 第15条 各科目履修の認定は、原則として科目ごとに8割以上出席した学生に対して行う。なお、病気入院など特別の理由による出席不足については、校長の判断に委ねる。
- 2 教育指導計画にしたがって科目を履修し、その成績を評定して合格した学生に対して、単位の修得を認定する。
 - 3 成績の評定（以下、評定という。）は、定期試験の成績及び平素の成績に基づいて行うものとする。
 - 4 評定の結果は、A、B、C、Dをもって表し、Dを不合格とする。
但し、一部の科目については、必要な授業時間数を受けた学生に対し、Sとして単位の認定をすることがある。
 - 5 評定は、100点を最高点として行い、得点との関係は、次の通りとする。
80点以上 A 60点以上 B
50点以上 C 50点未満 D

本校ホームページにて公開する

<https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA1-6-2.pdf>

卒業・進級の認定基準

【概要】

卒業の認定基準については、毎年見直し検討を行っており、学生のより高い習熟度を達成させるように基準を設け、学則において設定している。学生・保護者については学生心得にて公開・周知している。卒業の認定についての基準は下記の通りである。

【卒業認定基準】

本学は、学則第14条第2項、第3項、第4項、第5項、第6項に基づき、所定の単位を修得した学生で、下記に示す能力を身につけた者に対して卒業認定をする。

【学則抜粋】

第14条（省略）

- 2 1 授業時間及び1 実習時間は、50分間とする。
- 3 本校において行う講義、演習等の単位の基準は、授業時間15時間をもって1単位とする。また、実習の単位の基準は、実習時間30時間をもって1単位とする。
- 4 専門課程の2年次進級認定に必要な単位数は、60単位以上とし、また卒業認定に必要な単位数は、115単位以上とする。この際、2年次で取得しなければならない最低単位数は、54単位とする。
- 5 進級並びに卒業要件を欠く学生は、原則として1年次、2年次の課程を再履修するものとする。但し、第21条第2項に該当する場合には、この限りでない。
- 6 進級認定並びに卒業認定を行うにあたっては、原則として年間総授業時間数の9割以上出席した学生に対して行う。なお、病気入院など特別の理由による出席不足については、校長の判断に委ねる。

【身に付ける能力】

「経理・事務学科」

1. 経理事務や一般事務、営業事務など事務職で必要とされる財務会計の専門知識を有し、実務において実践できる能力。
2. 情報活用技術をコンピュータ・情報に関する知識を有し、業務で必要とされる各種書類の作成ができる能力。
3. 来客・電話等の際に適切な接遇ができる。

【税務会計学科】

1. 財務分野（財務会計並びに税法）の専門知識を有し、企業経営に必要とされる財務諸表を作成できる能力。
2. 財務諸表から企業の財務状態、経営状態を分析し企業の健全な成長と発展に寄与できる能

力。
<p>【北海道観光学科】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光に関する専門知識を有し、北海道の魅力を発信し、観光の各分野で活躍できる能力。 2. 北海道の観光産業を支えることができる能力。 3. コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。 <p>【情報・マネジメント学科】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報・経営・財務分野の専門知識を有し、情報技術力や経営分析力を企業の経営に活用できる能力。 2. 会社の設立、ビジネスプランなどの知識を有し、起業家精神を培った企業家。 3. 企業経営の中核を担い活躍できる人材を目指す。
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>目標達成レベルに応じて、放課後講習を実施。また、心的な病等に対応するためカウンセラーを委嘱し、対応している。学習、生活指導については、保護者、学生、学校との連携により個別対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100.0%)	2人 (10.5%)	17人 (89.5%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(株)ピーアクト、(株)札幌東急ホテルズ、(株)ホンダ四輪販売北海道、 札幌みらい中央青果(株)、(株)ヤマダデンキ、(株)リライアブル、藤光鋼材(株)、 UDトラックス北海道(株)、(株)エコテックジャパン、岩崎電子(株)、ネットヨタ道都(株)、 日産部品北海道販売(株)、(株)藤井ビル、S A T O 社会保険労務士法人、(株)テクノラボ、 (株)一寸房、(株)KDD I エボルバ			
(就職指導内容)			
担任による個別指導、就職サポートによる個別対応、全体就職指導、就職決定者（在校上級性）を囲んだ座談会、就職状況に関する講話（民間講師招へい）、個別面接練習及び個別就職相談等を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
IT パスポート試験、Excel 表計算処理技能認定試験、ACCESS データベース技能認定試験、日本語ワープロ検定、ファイナンシャル・プランニング技能検定、日商簿記検定試験、全経電卓検定、リテールマーケティング(販売士)検定			
(備考) 開設している授業の種類については、令和5年度入学生のもので記載。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	3人	8.1%
(中途退学の主な理由)		
生活不適合、就職		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
欠席増加に伴って、担任からの指導、保護者への連絡、3者面談などを実施し、本人の将来を考えての指導を実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
税務会計学科	160,000 円	627,000 円	163,000 円	
北海道観光学科	160,000 円	627,000 円	163,000 円	
経理・事務学科	160,000 円	627,000 円	163,000 円	
情報・マネジメント学科	160,000 円	627,000 円	163,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページに下記URLにて公開する。 https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA4-2.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校の評価について、学校運営全般について検討する学校運営委員会委員により検討されたことに基づいて教育活動がおこなわれているか、また、改善点の対応ができて いるかを評価することによって、自己評価の客観性、透明性を高める。 また、今後の学校運営に改善内容を反映させていくことから、学校運営委員会の理事 が学校関係者評価委員を兼務し、学校内部委員と共に、総合的に実践的な職業教育の 実施を目指す。 学校関係者評価表(令和4年度) https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA5-2.pdf		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大黒自工 (株)	2023. 4. 1～ 2026. 3. 31	企業 学校運営員会委員を 兼務
税理士法人知野・寺田会計事務所	2023. 4. 1～ 2026. 3. 31	企業 学校運営員会委員を 兼務
北海道クリエイティブ (株)	2023. 4. 1～ 2026. 3. 31	企業 学校運営員会委員を 兼務
(株) 藤井ビル	2023. 4. 1～ 2026. 3. 31	企業 学校運営員会委員を 兼務
(株) 京王プラザホテル札幌	2023. 4. 1～ 2026. 3. 31	企業 学校運営員会委員を 兼務

(株) 日本旅行北海道	2023. 4. 1～ 2026. 3. 31	企業 学校運営員会委員を 兼務
(株) 北洋銀行	2023. 4. 1～ 2026. 3. 31	企業 学校運営員会委員を 兼務
(株) ニトリパブリック	2023. 4. 1～ 2026. 3. 31	企業 学校運営員会委員を 兼務
セカサミゴルフエンタテインメント (株)	2023. 4. 1～ 2026. 3. 31	企業 学校運営員会委員を 兼務 卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校関係者評価結果についてはホームページにより公開する https://sapporo-cci.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2023/06/R05CA5-4-1.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページURL https://sapporo-cci.ac.jp/ ・学校案内・募集要項 学校オープンキャンパス、各種進学説明会にて配布 資料請求、メール、電話にて受け付けた場合は郵送にて配布 (無料)
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H101310400028
学校名	札幌商工会議所附属専門学校
設置者名	札幌商工会議所附属専門学校

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		37人	35人	37人
内 訳	第Ⅰ区分	24人	22人	
	第Ⅱ区分	-	12人	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				37人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間		前半期	0人 後半期 0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。